

JUMP講座

子育てタクシー

「ぼくは、この子育てタクシーも考えました。なぜぼくは、この子育てタクシーを考えたか」というと、まちづくりのアイディアで、何かいい考え思いついたか「ぼくは、かな」。「と苦えていたから、水が思いつきました。子育ては、たいへんタクシーは、ねだんが高い送りおがえで、仕事。自分の時間がへるといいう苦えに、対する答えが「水」とぼくは、思っ。ています。

「これの説明は、子育てしてる人。子どもをたいじょうに、ね引きする。子供の送りおがえをタクシーの毎日セツトが1500円平日セツトが1000円。田といいう形で、申しこめるようになってます。

「これのこうかは、わか者が多く、このまちにやって来て、しようしよう水い化がふせげるし、人口も、どんどんふえていくというところが子育てタクシーがきたいいです。これらが子育てタクシーです。